

## とくしま LED・デジタルアートフェスティバルについて

県議会 6 月定例会閉会以降、シンボルアート作品について、公募を行い、審査委員会での審査を踏まえ決定するとともに、「とくしま LED・デジタルアートフェスティバル実行委員会」を開催し、イベント、広報等を盛り込んだ「事業計画」及び「来場者数等数値目標」を決定した。

### 1 事業計画

#### (1) シンボルアート作品

- 募集期間 平成 29 年 7 月 7 日から 8 月 3 日
- 審査等 平成 29 年 8 月 8 日開催の審査委員会で審査の上、  
8 月 9 日開催の実行委員会で決定
- 作家名 チームラボ株式会社
- 作品名 新町川エリア : 起き上がり小法師  
城山公園エリア : 呼応する木々  
万代倉庫エリア : 秩序がなくてもピースは成り立つ  
県庁エリア : クリスタル花火

#### (2) その他のイベント、広報

- イベント（主な内容）
  - ・子ども等を対象としたアートづくりのワークショップ  
子ども等を中心として気軽にアートづくりを体験できるワークショップを開催
  - ・公募によるライブパフォーマンス等のイベント  
文化芸術活動を行っている団体や個人による発表の場を設け、多くの方が主体的に参加できる機会とするため、ワークショップ、ダンス・音楽のパフォーマンス等を広く公募し開催
- 広報（主な内容）
  - ・国外向け広報  
徳島県での宿泊者が多い、香港、台湾及び徳島県の拠点のある上海を中心に、現地旅行会社へのツアー造成依頼、同会社と連携し開催するセミナー等での PR
  - ・県外向け広報  
首都圏、関西圏等での航空会社、旅行会社等と連携した商談会、セミナー等での PR

（※詳細は別添のとおり）

### 2 来場者数等数値目標

- 来場者数 : 40 万人（前回 約 32 万人）
- 来場者数に占める県外客・国外客の割合 : 15%（前回 6.2%）

# とくしまLED・デジタルアートフェスティバル事業計画

## 1 基本事項

### (1) 名称

とくしまLED・デジタルアートフェスティバル

### (2) 主催

とくしまLED・デジタルアートフェスティバル実行委員会  
とくしまLED・デジタルアート推進協議会、徳島県、徳島市

### (3) 開催日程

平成30年2月9日（金）～18日（日） 10日間  
18時～22時（一部を除く。）

### (4) エリア

新町川、城山公園、万代倉庫、県庁

### (5) 基本方針

- ① 「LED」に「デジタルアート」を融合することにより、レベルアップを図り、新たな文化を創造
- ② 実施エリアを広げた上、各エリアに特性を持たせ周遊性を向上
- ③ 国内外への広報・発信を高め、冬期の観光誘客とにぎわいを創出
- ④ 子どもたちが先端技術に触れる機会を創出することにより、若い世代を中心に科学技術への興味を醸成

## 2 実施内容

### (1) 作品展示等

#### ① シンボルアート作品

作品名：新町川エリア：起き上がり小法師  
城山公園エリア：呼応する木々  
万代倉庫エリア：秩序がなくともピースは成り立つ  
県庁エリア：クリスタル花火

作家名：チームラボ株式会社

展示時間：18時～22時（一部を除く。）

② 徳島市LED景観整備事業（常設展示作品）

- (ア) 作品名：SORAとMIZU  
作家名：逢坂 卓郎  
展示場所：両国橋  
展示時間：17時～24時
- (イ) 作品名：虹のラクーン  
作家名：たほりつこ  
展示場所：ふれあい橋（橋梁側面）  
展示時間：17時～24時
- (ウ) 作品名：光のマトリックス - 白色LEDによるオペレッタ  
作家名：ミシャ クバル  
展示場所：新町橋  
展示時間：17時～24時
- (エ) 作品名：文化を伝承する藍の落水  
作家名：Spatial Practice  
展示場所：春日橋  
展示時間：17時～24時

(2) イベント

① オープニング式典

主催者挨拶・来賓祝辞及びシンボルアート作品の点灯式を行う。

② アーティストによるトークイベント

シンボルアート作品制作者によるトークイベントを実施する。

③ 作品鑑賞案内

ガイドによる作品鑑賞案内を実施し、作品に対する理解を深めてもらう。

④ 子ども等を対象としたアートづくりのワークショップ

子ども等を中心にして、気軽にアートづくりを体験できるワークショップを開催する。

⑤ 公募によるライブパフォーマンス等のイベント

文化芸術活動を行っている団体や個人による発表の場を設け、多くの方が主体的に参加できる機会とするため、ワークショップ、ダンス・音楽のパフォーマンス等を広く公募し、開催する。

公募スケジュール（予定）

募集開始：平成29年 9月～1ヶ月程度

審査：平成29年10月中旬

決定：平成29年10月下旬

⑥ **スタンプラリー**

チェックポイントを設け、達成者には抽選で景品をプレゼントすることにより、エリア間の周遊性を高める。

⑦ **NPOをはじめとした民間による関連イベント**

NPO法人などに開催時期を合わせたイベントの開催を依頼する。

⑧ **フィナーレ式典**

主催者挨拶、フィナーレの演出を行う。

(3) **飲食**

市内のレストラン等に徳島の食が味わえるイベント等の開催を依頼するとともに、エリア内に飲食ブース等を設置する。

(4) **エリア間移動手段**

来場者が各エリアを巡回できるよう移動手段の確保を図る。

① **エリア巡回バス**

② **周遊船**

③ **レンタサイクル**

3 **広報**

(1) **チラシ・ポスター制作・配付等**

日本語及び英語・中国語の多言語によるチラシ・ポスターを配付し、周知を図る。

(2) **国外向け広報**

徳島県での宿泊者が多い、香港、台湾及び徳島県の拠点のある上海を中心に、現地旅行会社とタイアップしたセミナーの開催、現地雑誌への記事掲載等により周知を図る。

また、その他のアジア圏での観光プロモーションの機会を通じ周知を図る。

① **香港**

- ・現地旅行会社に、フェスティバルを行程に組み込んだツアー造成を依頼
- ・ツアー商品購入を促すためのセミナーを開催
- ・現地雑誌への記事掲載

② **台湾**

- ・現地旅行会社に、フェスティバルを行程に組み込んだツアー造成を依頼
- ・ツアー商品購入を促すためのセミナーを開催
- ・現地雑誌への記事掲載

③ **中国**

- ・上海での観光プロモーションPR

**(3) 県外向け広報**

首都圏等での商談会等におけるPR活動により周知を図る。  
また、メディアや出版社、旅行会社等に対するプロモーションを行う。

**① 首都圏**

・航空会社等と連携した商談会・セミナー等によるPR

**② 関西圏**

・旅行会社等と連携した商談会・セミナー等によるPR

**③ 上記圏域以外**

・旅行会社等と連携した商談会・セミナー等によるPR

**(4) 県内向け広報**

新聞、テレビ、タウン誌、フリーペーパー、県及び市の広報紙など、地元メディアの活用により周知を図る。

**(5) ウェブの活用**

公式サイトやSNS等を活用した情報発信を行う。

また、公式サイトは、英語等の多言語での発信を行い、外国人への周知を図る。

・公式サイト

・公式SNS (Facebook、Twitter、Instagram、YouTube)

**(6) その他**

シンボルアート制作者や他のイベントと連携したPR活動を行う。

市内のホテル・旅館・タクシー業界等に対する情報発信の強化を図る。

県民・市民一人ひとりに対して情報発信・拡散の協力を依頼する。

県内在住の留学生に対して情報発信・拡散の協力を依頼する。

(7) 広報スケジュール（予定）

開始時期	県 外	国 外
平成29年8月～	SNS運用開始	
	簡易チラシ（日本語）作成	簡易チラシ（英語・中国語）作成
	PR活動開始	PR活動開始
平成29年9月～	公式サイト運用開始	
	商談会等でのPR活動開始	
平成29年10月～	ポスター・本格チラシ（日本語）作成	本格チラシ（英語・中国語）作成
平成29年12月～	プログラム（日本語）配布	プログラム（英語・中国語）配布
時期未定	OTA (Online Travel Agent)	
	メディア等 (テレビ・新聞・雑誌)	

※県内の広報活動については随時行っていく。

4 フェスティバル期間中の対応

(1) 主催者本部（インフォメーション、救護所等を含む。）の設置

インフォメーション、救護所を含む主催者本部を設置し、来場者からの問い合わせ等に対応する。

(2) 駐車場及び駐輪場の確保

既存の施設を含め駐車場及び駐輪場の確保に努めるとともに、来場者への情報提供を行う。

(3) 運営体制（スタッフ、ボランティア、警備等）の整備

必要なスタッフ、ボランティア、警備を確保するとともに、イベント保険に加入するなど安全安心な運営体制を整備する。

(4) 情報発信

① インフォメーションブース

② ウェブサイト（公式HP・SNS）

作品のきめ細やかな案内に加え、公式HPではウェブ版のプログラムを配布するとともに、公式Facebook、Twitterなどで各コンテンツや駐車場等の案内・混雑状況などを発信する。

(5) フェスティバルの効果検証

① 経済波及効果

外部機関に依頼し、経済波及効果測定を行う。

② 来場者数値目標等

国土交通省観光庁「観光客入込客統計に関する共通基準」を参考にするとともに、来場者アンケート調査を実施し、数値目標の検証を行う。

5 収支予算

<収入>

(単位：千円)

項目	金額	備考
補助金	160,000	県補助金：80,000千円、市補助金：80,000千円
協賛金	5,000	
計	165,000	

<支出>

(単位：千円)

項目	金額	内容	金額の内訳			
			県	市	協賛金	
作品展示等	120,000	万代倉庫・県庁エリア	60,000	60,000		
		新町川・城山公園エリア	60,000		60,000	
運営費	20,000	エリア間移動	3,000	1,500	1,500	
		イベント	9,000	4,500	4,500	
		警備・案内スタッフ	8,000	4,000	4,000	
広報・事務費	25,000	WEBサイト制作	2,000	1,000	1,000	
		ポスター・チラシ制作	1,000	500	500	
		プログラム制作	2,000	1,000	1,000	
		広告・エージェントPR	15,000	5,000	5,000	5,000
		事務局費	4,000	2,000	2,000	
		イベント保険	1,000	500	500	
計	165,000		165,000	80,000	80,000	5,000